

(3) 本年度の学校評価

本年度の重点目標	地域・保護者から信頼され、生徒が学びたいと思う学校づくり		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々との密な連携による、よりよい学校づくりを心がける。 適切なタイミングで文書を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを用いて、効果的に情報を発信する。 きずなネットによるメール配信をより一層活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの保護者の方に学校行事などに興味をもってもらい、参加していただけたような内容にする。 保護者会などを通じ、メール会員を増やす取り組みを行う。
学習指導 (教務部) (各教科会)	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿った授業への改善をすすめ、生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成するとともに達成感を得られるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> AL室を活用する。AL室の使用方法を共有して授業に生かす。 本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> AL室の活用方法を十分に検討する必要がある。 中学校の授業における生徒の活動を参考に、高等学校での授業の方法・形態を工夫する。
生徒指導 (生徒指導部) (各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が基本的な生活習慣を身につける 生徒が正しい身だしなみを身につける いじめ防止について保健部(教育相談係)との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 期待される人間像をあらゆる場面で方法を工夫して伝え続ける。 予防的指導を徹底する。 職員間、職員と保護者間、職員と地域間の連絡を密にした体制で臨む。 指導・支援チームからの共通理解と意識啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣とは、あいさつをすること、時間を守ること、傾聴すること、整理・整頓・清掃をすることなどである。 遅刻数を毎月提示することで、遅刻数減少に向けて教員・生徒の意識を高める。遅刻指数の目標は1.5以下である。 身だしなみとは、「いつでも面接に臨めるように、服装・態度・言葉使いなどを整えること。またその心がけ」である。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 職員、生徒の信頼関係に基づき指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路志望状況を職員集団で共有する。 卒業生の進路を参考にし、効果的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査等のデータを共有する。 進路検討会等を使って個々の生徒に対する指導方針がぶれないようにする。 生徒の多様な進路希望を叶えられるように柔軟に対応する。
保健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちよく授業に臨める学習環境にする。 教育相談を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別をよびかけ、清掃・美化活動について啓蒙を図る。 学校カウンセラーの先生によるカウンセリングが適切に行われ、相談した生徒が学校生活を送るのに資する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室・トイレ・外庭などが清潔に保たれているか。 教育相談が必要な生徒について、情報を共有し、適切に対処できたか。
生徒会 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが主体となって学校行事に取り組むための環境づくりを行い、学校の活性化につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な学校行事運営のために、生徒会執行部の活動を中心に各委員会やHRとの連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事の活性化のために、広報活動を広げ、生徒の関心を高めるように努める。 生徒会活動がより周知されるようにし、諸行事への取り組み・参加を促すように努める。
学校関係者による評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導：教職員が目指す生徒像を共有し、生徒が意欲的に取り組む態度を育成できたか。 進路指導：個々の生徒の進路志望状況を職員が共有し、生徒の多様な進路を叶えることができたか。 教育環境の整備：教職員が健康を保ちつつ、意欲的に職務に当たれる状況に少しでも改善されたか。 	

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

前年度の重点目	地域・保護者から信頼され、生徒が学びたいと思う学校づくり		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保護者との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々との密な連携による、よりよい学校づくりを心がける。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを用いて、効果的に情報を発信する。 メール配信をより一層活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なタイミングで文書を発行した。 発行する文書の形式が、県の発行する「文書事務の手引き」に則ったものとなるよう字句や形式を詳細に点検した。 各所と緊密に連携することで、随時メール配信できた。
学習指導 (教務部・各教科会)	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に沿った授業への改善をすすめ、生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成するとともに達成感を得られるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> AL室を活用する。AL室の使用法を共有して授業に生かす。 本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> AL室の使用法の研修を行うことで、AL室の利用が増えた。重なって使用できない場合があった。さらに整備が必要である。 一方的講義による授業でなく、抜本的な授業における改革が必要である。
生徒指導 (生徒指導部・各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が基本的な生活習慣を身につける 生徒が正しい身だしなみを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 期待される人間像をあらゆる場面で方法を工夫して伝える。 予防指導を徹底する。 教員間、教員と保護者間、教員と地域間の連絡を密にした体制で臨む。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻指数は、前年度を下回った。 交通安全においては、「雨天時、カッパ着用、カサさし禁止」の徹底のため、校外での指導の充実をはかりたい。 この3年間、生徒たちが好ましい行動を心がけるように「他者貢献」と言い続けているが、来年度は一層の呼びかけを重ねたい。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> 教員、生徒の信頼関係に基づき指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の進路志望状況を職員集団で共有し、生徒自身に自分の人生を考えさせる指導をする。 卒業生の進路を参考にして、効果的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部会で、情報の共有が十分にできた。 1年生は職業研究、2年生は学校研究をする体制を確立することができた。 今後も生徒の多様な進路に対応できるようにしたい。
保健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちよく授業に臨める学習環境にする。 教育相談を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別をよびかけ、清掃・美化活動について啓蒙を図る。 カウンセラーによる面談により、相談した生徒が学校生活を送るのに資する。 	<ul style="list-style-type: none"> おおむね目標は達成することができた。来年度はさらに生徒の活動の幅を増やす。 相談室やカウンセラー利用についての案内を生徒や保護者に行うとともに、継続して利用できるように環境を整え、保健室来室者の利用のマナーやルールについて生徒に周知徹底させたい。 受診勧告者には保護者会の際に案内を配布してもらったので、昨年度より少し受診率が上がった。来年度も継続したい。
生徒会 (生徒会部)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが主体となって学校行事を活性化させ、充実した学校生活づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部の活動を中心に各委員会やHRとの連携を図り、生徒会行事を活発な活動にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部による広報活動(情報発信)をおこない、生徒たちの行事への関心・意欲を高めるように努めた。 生徒会行事の運営方法に関して、企画・運営段階から主体的に生徒たちがとりくめるように働きかけた。
総合評価	<p>これからは、多忙化解消は単なる努力目標では済まされない。多忙化の解消や在校時間の減少をさらに進めなければならない。本年度は、抜本的な業務改善についてかなりの時間をかけて各分掌や学年で話し合い、その意見をまとめ、少なからず業務の削減につながったものもあったが、もっとさらなる作業の効率化をはかる必要がある。学校評議委員からは現在の学校の生徒の状況についてはおおむね良好な意見が多かったが、学校の特徴をもっと広報するよう指摘を受けた。今後は、さらにPTA、地域等の意見も参考に少しでも地域から信頼される学校であり続けられるよう努力していきたい。</p>		

